

2018年4月6日
株式会社東陽テクニカ

「TECHNO-FRONTIER 2018」に出展
**～ “EV・HEV や自動運転の未来を支える技術”を中心に、
最先端計測ソリューションを4構成展で紹介 ～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、メカトロニクスやエレクトロニクスに関連する最新技術が集結するアジア最大級の専門展示会「TECHNO-FRONTIER 2018」（会期：2018年4月18日（水）～20日（金）、会場：幕張メッセ）の4つの構成展に出展いたします。

「第36回 モータ技術展」（ブース番号：4D-12）ではモータの省エネ化・高効率化のための各種計測機器を、「第33回 電源システム展」（ブース番号：6C-32）では、主に車載電装品の性能や品質を評価するための電源や電子負荷およびEV充電機構の評価に最適なEV充電アナライザを展示いたします。「第31回 EMC・ノイズ対策技術展」（ブース番号：5E-12）ではモータや車載電装品の最新EMC試験ソリューション、「第1回 AI/IoT 活用技術展（自動運転支援技術コーナー）」（ブース番号：5B-14）では自動運転を実現するための最先端計測ソリューションを紹介いたします。幅広い分野の最新計測技術・ソリューションでEV・HEVをはじめとする次世代自動車や自動運転技術の研究開発を支えてまいります。



<東陽テクニカ ブースイメージ>

【 展示会のみどころ 】

「第36回 モータ技術展」

【主催者公式サイト：<https://www.jma.or.jp/tf/outline/motor.html>】

機械制御分野（機械制御計測部）から、モータを多角的に評価する機器やテストデータの高速処理・解析が可能なソフトウェアなどを紹介します。

省エネで高効率のモータ開発を支える高精度/高速応答/高速回転対応のトルク計「TM シリーズ」や、毎分10万回転の高速モータを評価できるブレーキ一体型試験装置「1WB27」、多様な音振動解析をリアルタイムで実施できるマルチ JOB FFT アナライザ「OR30 シリーズ」などを展示します。

<主な展示製品>

- 直結型磁歪式トルクトランスデューサ「TM シリーズ」(Magtrol 社)
- 超高速ダイナモメータ「1WB27」(Magtrol 社)
- 波形解析ソフトウェア「imcFAMOS」(imc-MeßSysteme 社)
- マルチ JOB FFT アナライザ「OR30 シリーズ」(OROS 社)

「第 33 回 電源システム展」

【主催者公式サイト：<http://www.jma.or.jp/tf/outline/power.html>】

電動化計測分野（理化学計測部）から、自動車の電動化に有用な計測ソリューション、新製品として、EV・HEV の車載電装品評価に最適な電力回生機能付きの高出力双方向 DC 電源「PSB9000 シリーズ」や、EV 充電中の通信・制御信号と電圧・電流を時間同期しながらの測定や解析が可能な「EV チャージャアナライザ/シミュレータ」などを紹介します。

<主な展示製品>

- 回生式双方向直流電源「PSB9000 シリーズ」(EA Elektro-Automatik 社)
- 「EV チャージャアナライザ/シミュレータ」(comemso 社)
- 太陽電池模擬電源「ETS シリーズ」(AMETEK Programmable Power 社)
- 多機能・プログラマブル交流/直流電源「Asterion シリーズ」
(AMETEK Programmable Power 社)

「第 31 回 EMC・ノイズ対策技術展」

【主催者公式サイト：<https://www.jma.or.jp/tf/outline/emc.html>】

EMC 分野（EMC マイクロウェーブ計測部）から、EV・HEV 市場の拡大に伴いノイズが高まると予想される車載電装品の最新 EMC 試験ソリューションを展示します。

車載電装品に求められる規格試験を既存の施設で実施できるようにする可搬型電気モーター負荷ユニット「BlueBox」と、実際の電磁障害環境に類似した環境を作り出すことができると近年注目を集めるリバブレーションチャンバー「SMART™ シリーズ」の模型を展示します。また、既存の EMI レシーバー一体型アクティブロッドアンテナに FFT 機能を追加し測定時間の大幅短縮を実現した「FR4003」を紹介します。

さらに、IEC61000-4 シリーズ規格の最新動向について出展者セミナーを行います。

<主な展示製品>

- リバレーションチャンバー「SMART™ シリーズ」(ETS-Lindgren 社)
- 可搬型電気モーター負荷ユニット「BlueBox」(Frankonia Germany EMC Solutions 社)
- FFT 対応 EMI レシーバー一体型アクティブロッドアンテナ「FR4003」
(Narda Safety Test Solutions 社)
- 各種 EMI・EMS 測定ソリューション

<セミナー>

タイトル：「IEC61000-4 シリーズの連続波免疫規格の最新動向」

- ◎日時： 4月18日(水) 14:30～15:20
- ◎会場： 出展者セミナー A会場
- ◎詳細： 東陽テクニカ・アプリケーションマネージャで、IEC^{※1}Sub-Committee (分科委員会) 77B/Working Group (作業グループ) 10 のエキスパートである中村哲也が、WG10 が開発とメンテナンスを担当する IEC61000-4 シリーズの中の高周波現象、主に連続波による免疫試験規格 (IEC61000-4-3, 4-6, 4-31, 4-39 など) について最新動向を中心に紹介します。

「第1回 AI/IoT 活用技術展 (自動運転支援技術コーナー)」

【主催者公式サイト：<https://www.jma.or.jp/tf/outline/ai.html>】

予想を上回る速さで発達する AI (人工知能) 技術はさまざまなビジネスや技術への応用が期待されています。そのトレンドを受けて今年初めて開催される「AI/IoT 活用技術展」に集中展示として設けられる「自動運転支援技術コーナー」には、機械制御分野 (機械制御計測部) から、自動運転技術の開発に必要な最先端の計測ソリューションを紹介します。

新製品として、自動運転技術の開発現場で検証に用いられる LiDAR^{※2} を用いた路面形状計測システム「XenoTrack-RT」を実機展示します。「XenoTrack-RT」は、車両のルーフなどに取り付け、LiDAR で路面の凹凸を計測するセンサで、障害物検知などに役立ちます。

<主な展示製品>

- 非接触式視線計測システム「Smart Eye Pro System」(Smart Eye 社)
- GPS 制御 実車走行試験用ロボット「NaviControl」(HI-TEC 社)
- ハブ結合式シャシダイナモメータシステム「ROTOTEST[®] Energy™」(Rototest 社)
- 路面形状計測システム「XenoTrack-RT」(XenomatiX 社)

※1 国際電気標準会議。電子工学、電気工学、およびそれに関連した技術に関する国際的な標準化団体。

※2 Light Detection and Ranging (光による検知と測距) の略。光を用いたリモートセンシング技術のひとつで、物体の存在を検知したりその距離を測定するために用いられ、自動車業界においては、自動運転などの先進技術で必要不可欠なセンサとして注目され採用が進んでいる。

【ブース概要】

- 会期：2018年4月18日（水）～20日（金）
- 場所：幕張メッセ
- ブース番号：
 - ・「第36回 モータ技術展」：4D-12
 - ・「第33回 電源システム展」：6C-32
 - ・「第31回 EMC・ノイズ対策技術展」：5E-12
 - ・「第1回 AI/IoT 活用技術展（自動運転支援技術コーナー）」：5B-14
- 出展のお知らせ：
 - ・「第36回 モータ技術展」
https://www.toyo.co.jp/mecha/seminar/detail/techno-frontier2018_motor.html
 - ・「第33回 電源システム展」
https://www.toyo.co.jp/material/seminar/detail/techno-frontier2018_dengen.html
 - ・「第31回 EMC・ノイズ対策技術展」
https://www.toyo.co.jp/emc/seminar/detail/TECHNO-FRONTIER_2018_EMC.html
 - ・「第1回 AI/IoT 活用技術展（自動運転支援技術コーナー）」
https://www.toyo.co.jp/mecha/seminar/detail/techno-frontier2018_auto.html

<株式会社東陽テクニカについて>

当社は1953年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017年にかけて新しい3組織「セキュリティ&ロボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ

■ 第 36 回 モータ技術展： 機械制御計測部

TEL：03-3245-1242（直通）E-mail：magtrol@toyo.co.jp

■ 第 33 回 電源システム展： 理化学計測部

TEL：03-3245-1103（直通）E-mail：keisoku@toyo.co.jp

■ 第 31 回 EMC・ノイズ対策技術展： EMC マイクロウェーブ計測部

TEL：03-3245-5244（直通）E-mail：emc@toyo.co.jp

■ 第 1 回 AI/IoT 活用技術展、自動運転支援技術コーナー： 機械制御計測部

TEL：03-3245-1242（直通）E-mail：web-car@toyo.co.jp

（関連 URL）

「自動車計測ソリューションサイト」：<http://www.toyo.co.jp/solution/car/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。